

第8部

福祉・協働・男女共同参画



第1章 福祉

- 150 社会福祉施設数
- 151 生活保護
- 152 障害者手帳所持者数
- 153 障害者支援サービスに関する満足度
- 154 障害者の雇用
- 155 老人福祉施設数(入所)
- 156 介護保険給付状況
- 157 要介護・要支援認定者数
- 158 居宅サービス利用率
- 159 介護サービスに関する満足度
- 160 児童虐待相談対応件数
- 161 児童虐待の種類別・年齢別割合
- 162 保育所等定員数・利用児童数及び待機児童数
- 163 放課後児童クラブのクラブ数及び登録児童数



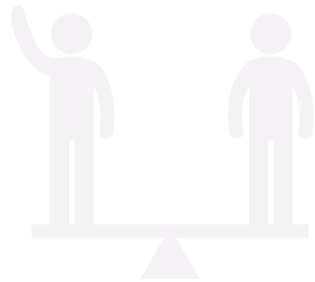
第2章 協働

- 164 NPO法人の認証数
- 165 ボランティア活動の行動者率



第3章 男女共同参画

- 166 男女の家事関連従事時間の推移
- 167 男女の仕事時間の推移
- 168 女性の管理的職業従事者の割合





社会福祉施設数

第一種社会福祉事業である社会福祉施設は、老人福祉施設(入所)及び障害者支援施設が約9割を占める

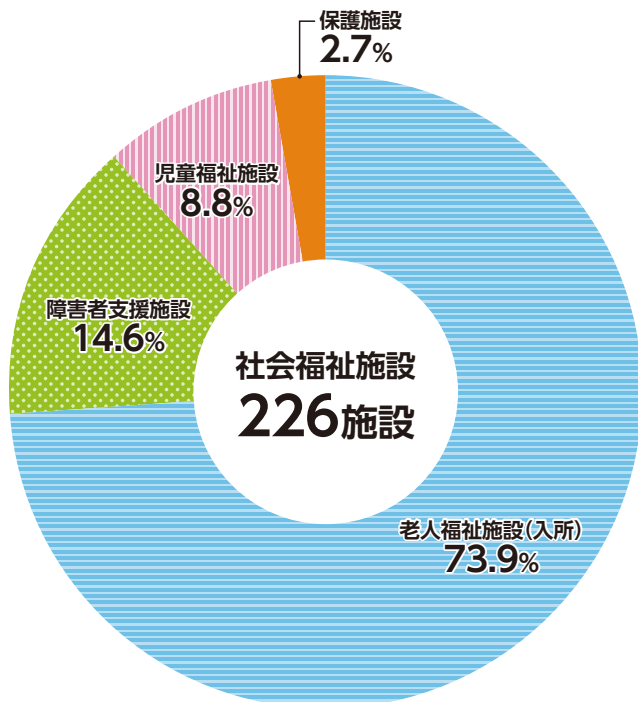


第一種社会福祉事業である社会福祉施設を種類別にみると老人福祉施設(入所)が167施設で最も多く、全体の約7割を占めています。次いで障害者支援施設が33施設で14.6%を占め、この2施設で全体の88.5%を占めています。

2023(R5)年4月1日現在の第一種社会福祉事業である社会福祉施設は226施設で、種類別にみると、老人福祉施設167施設、障害者支援施設33施設、児童福祉施設20施設、保護施設6施設となっています。

社会福祉施設(2023(R5)年)

資料：県地域福祉課、県障害福祉課、県介護保険課、県こども家庭課





生活保護

月平均生活保護被保護人員は、前年比2.0%減少



2022(R4)年度の月平均生活保護被保護人員は1万8,096人で、前年度と比べて369人(2.0%)減少し、人口千人当たりの保護率は13.9となっています。

2022(R4)年度における扶助費支出総額は300億1,401万円で、前年度と比べて2億9,168万円(1.0%)減少しました。扶助費を費目別にみると、医療扶助が153億6,606万円で最も多く、51.2%を占めています。

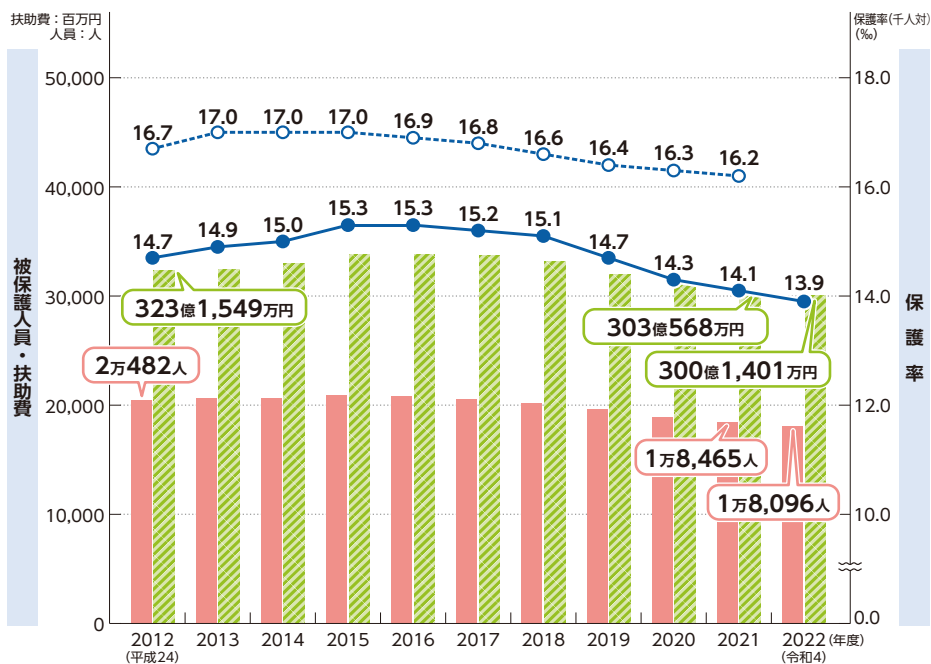
2012(H24)年度と比べると、月平均生活保護被保護人員は2万482人から1万8,097人と11.6%減少、扶助費支出総額は323億1,549万円から300億1,401万円と7.1%減少しました。また、人口千人当たりの保護率は2015(H27)、2016(H28)年度をピークに減少傾向となっています。

2021(R3)年度の人口千人当たりの保護率の全国平均は16.2で奈良県より高く、全国平均の方が高い状況が続いています。

生活保護費の動向と保護率の推移

資料：県地域福祉課

■ 被保護人員 ■ 扶助費 ● 保護率(奈良県)(右目盛) ○ 保護率(全国)(右目盛)





障害者手帳所持者数

2022(R4)年度末現在の障害者手帳所持者数は、8万7,476人



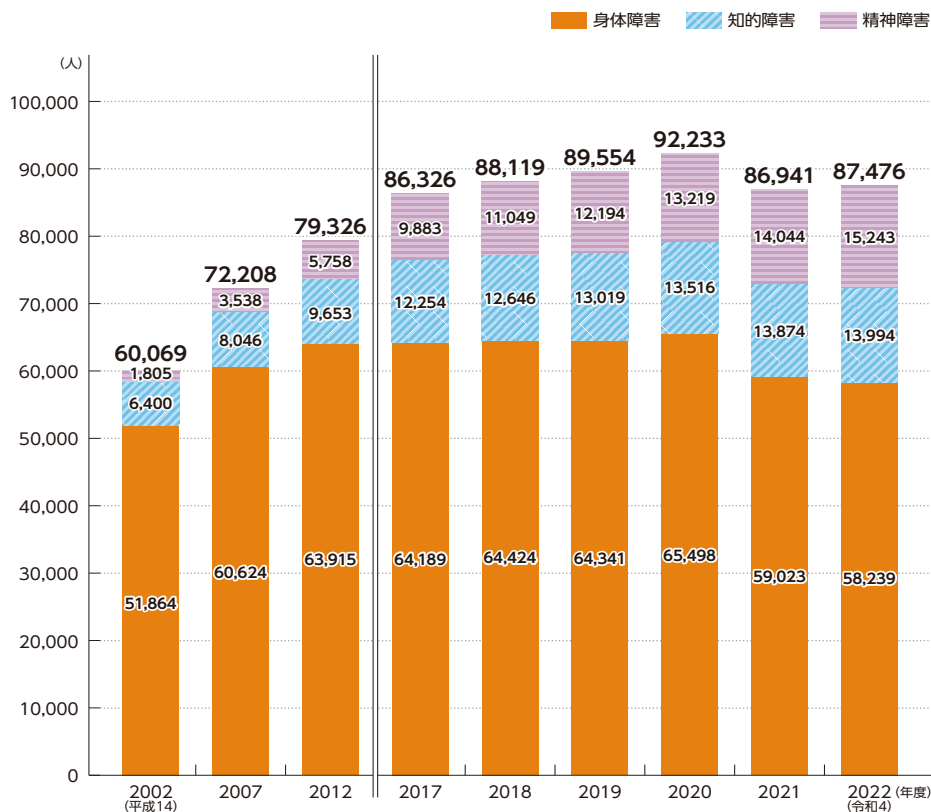
2022(R4)年度末における障害者手帳所持者数は、8万7,476人で、そのうち身体障害者が5万8,239人で66.58%となっています。

2022(R4)年度末の障害者手帳所持者数は8万7,476人で、そのうち身体障害者が5万8,239人で66.58%を占めています。知的障害者が1万3,994人で16.00%、精神障害者が15,243人で17.43%となっています。

2002(H14)年度に比べて、全体が1.5倍増、身体障害者が1.1倍増、知的障害者は2.2倍増、精神障害者については8.4倍増となっています。

障害者手帳所持者数の推移

資料：県障害福祉課、県精神保健福祉センター





障害者支援サービスに関する満足度

障害者支援サービスに関する満足度は2.99と前年度からわずかに上昇するも、全項目の満足度の平均を下回る

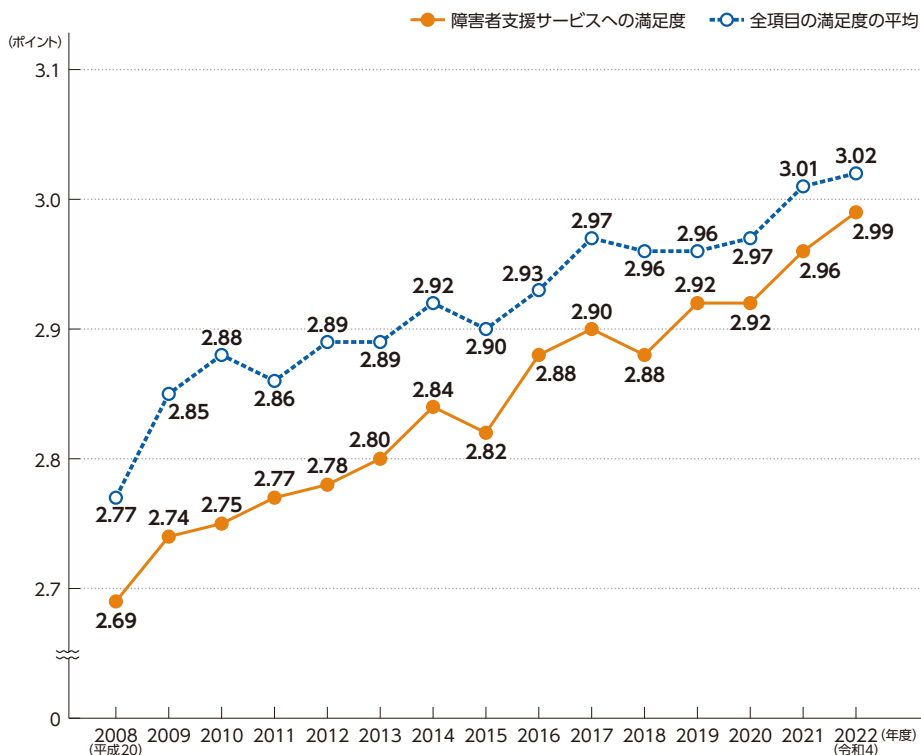


2022(R4)年度県民アンケート調査によると、障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられることに関して、満足度が2.99で、全項目の満足度の平均の3.02を0.03下回っています。2008(H20)年度の2.69と比べると0.30増加となっています。

- **満足度**…生活に関する各項目について、それぞれに次の点数を与え、平均をとった値
 - ・十分満たされている(5点) ・かなり満たされている(4点) ・どちらともいえない(3点)
 - ・あまり満たされていない(2点) ・ほとんど満たされていない(1点)
- **全項目の満足度の平均**…障害者支援サービスを含め、県民アンケートの全ての質問項目の満足度を平均した値。

障害者支援サービスへの満足度

資料：県統計分析課「県民アンケート調査報告書」





障害者の雇用

障害者の雇用は、2,834.5人となり、前年と比較して0.5人増加。民間企業における実雇用率は2.91%で、前年と比較して0.03ポイント上昇



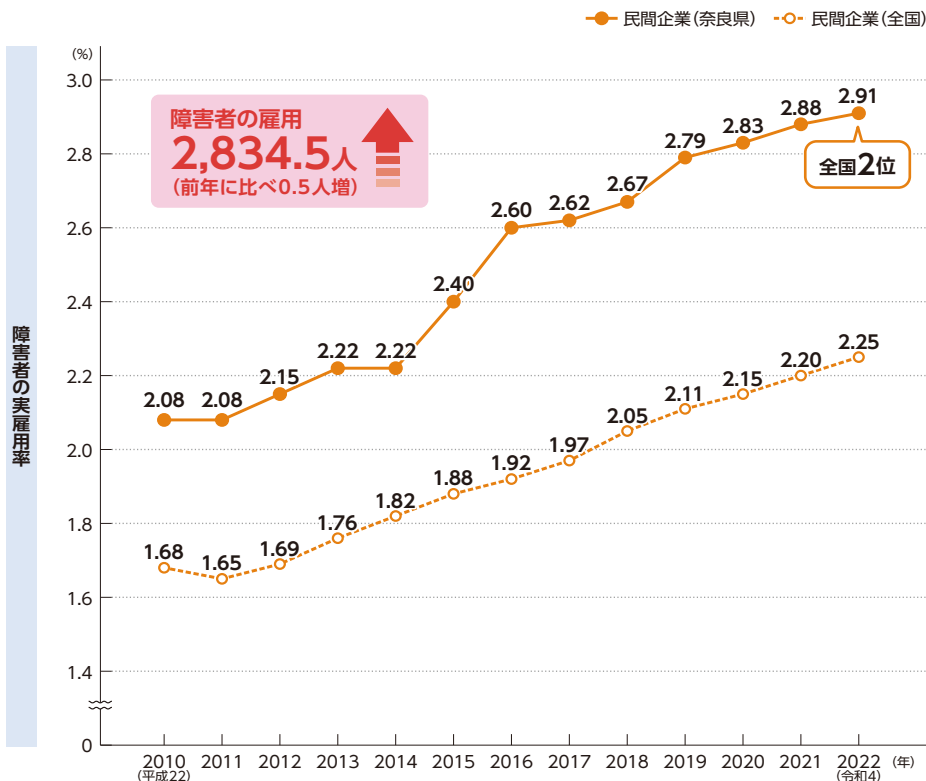
2022(R4)年の法定雇用率2.3%が適用される一般の民間企業(常用労働者数43.5人以上規模企業)数は699社となり、雇用されている障害者数は2,834.5人と増加しています。

2022(R4)年6月1日現在の民間企業における実雇用率は2.91%で前年と比較して0.03ポイント上昇し、全国平均の2.25%を0.66ポイント上回り、全国第2位となっています。

※短時間労働者数については、原則0.5人分とカウントされる。

障害者の雇用状況の推移

資料：厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」、奈良労働局「奈良県の障害者雇用状況の集計結果」





老人福祉施設数(入所)

老人福祉施設(入所) 167施設 定員9,994人

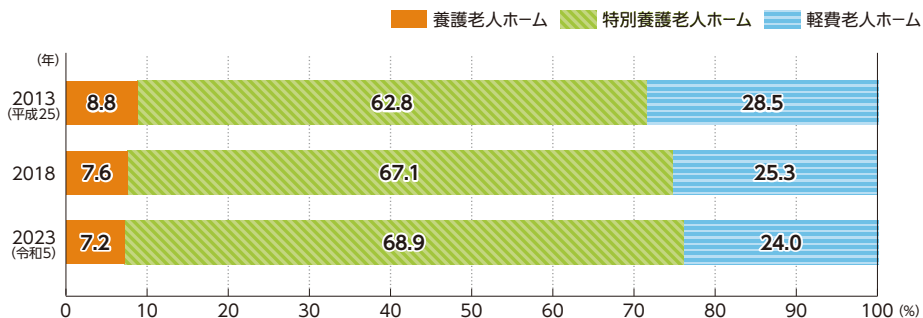


社会福祉施設のうち老人福祉施設(入所)に分類されるものは167施設で、老人福祉施設(入所)の定員は9,994人となっています。

2023(R5)年4月1日現在の老人福祉施設(入所)は167施設で、養護老人ホーム12施設、特別養護老人ホーム115施設、軽費老人ホーム(A型・ケアハウス)40施設となっています。

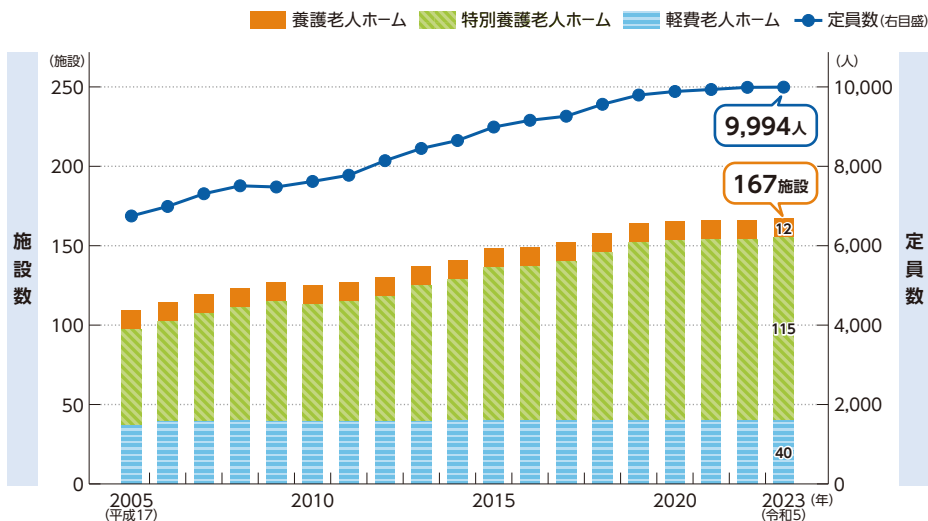
老人福祉施設数(入所)の割合

資料：県介護保険課



老人福祉施設数(入所)の推移

資料：県介護保険課





介護保険給付状況

介護保険給付費は1,178億円で、前年度より0.8%増加

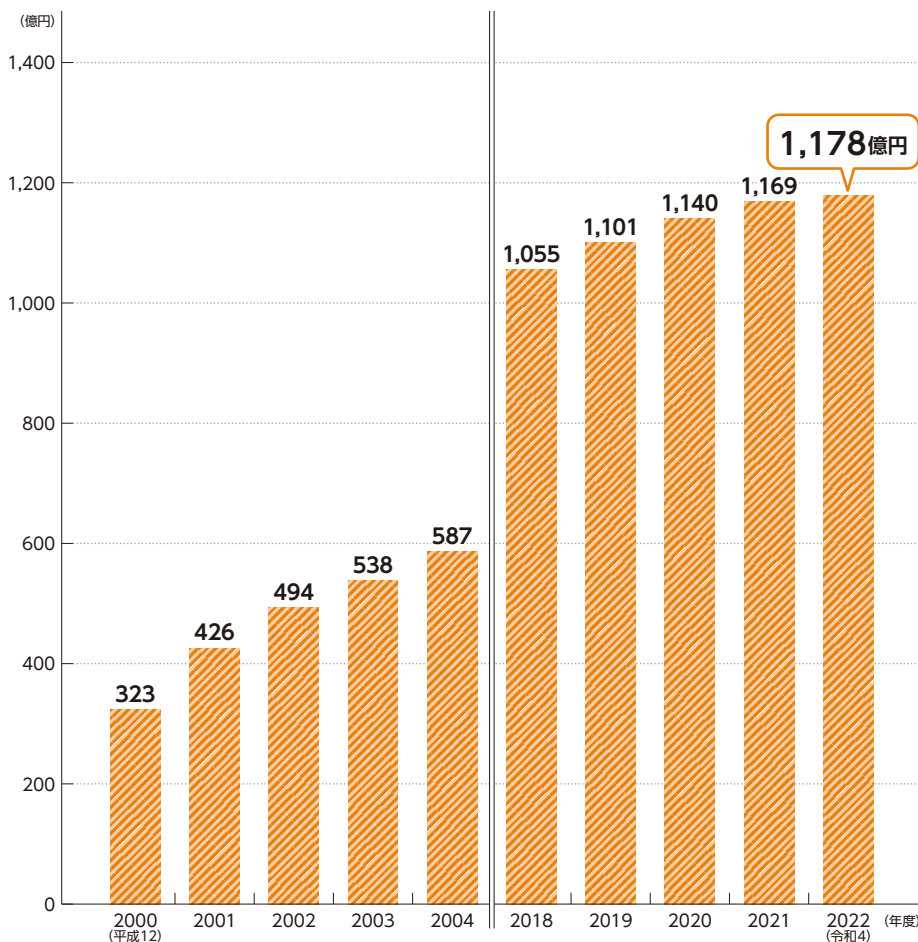


2022(R4)年度の介護保険給付費総額は1,178億円で、2021(R3)年度と比較して9億円、0.8%増加しました。

2022(R4)年度の介護保険給付費総額は、介護保険が始まった2000(H12)年度と比べると、323億円から855億円増加し、約3.6倍となっています。

介護保険給付状況の推移

資料：県介護保険課「介護保険の施行状況」





要介護・要支援認定者数

要介護・要支援認定者数は8万2,500人で、
前年より1.8%増加

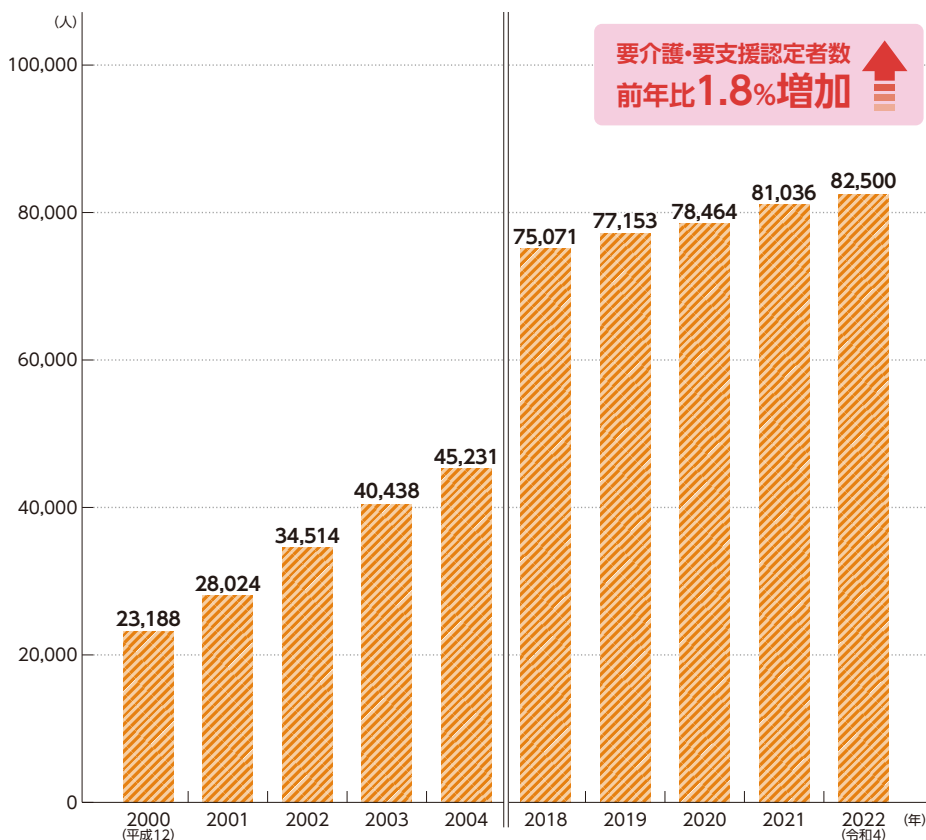


2022(R4)年6月末現在の要介護・要支援認定者数は8万2,500人で、前年と比べて1,464人増加しています。

介護保険の施行状況によると2022(R4)年6月末現在の要介護・要支援認定者数は、8万2,500人で、2021(R3)年から1,464人(1.8%)の増加となっています。また、介護保険が始まった2000(H12)年と比べると、5万9,312人増加し3.56倍となっています。認定者のうち要介護2が最も多く、全体の18.2%となっています。

要介護・要支援認定者数の推移 (各年6月末現在)

資料：県介護保険課「介護保険の施行状況」





居宅サービス利用率

居宅サービス利用率は上昇傾向



2022(R4)年度末の介護保険サービスに占める居宅サービス利用率は83.2%で、2012(H24)年度末より2.7ポイント上昇していますが、全国平均を下回っています。

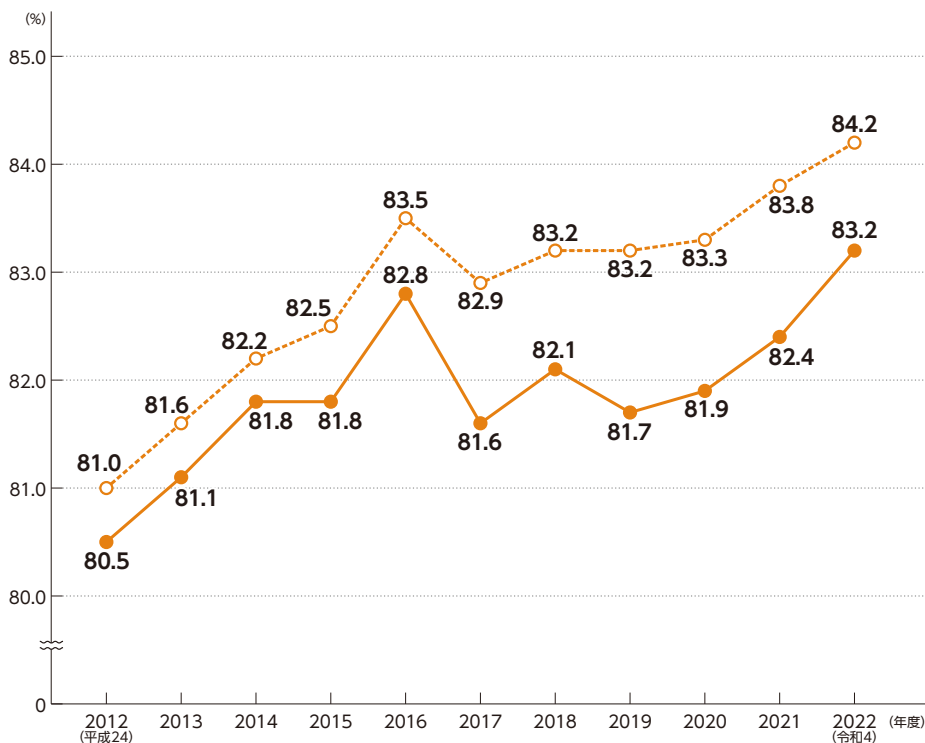
介護保険の施行状況によると2022(R4)年度末の居宅サービス利用率は83.2%で、2012(H24)年度末の80.5%と比べると2.7ポイント増加しています。また、全国平均の値は2012(H24)年度末の81.0%から、2022(R4)年度末は84.2%と3.2ポイント増加しています。

- 居宅サービス…介護保険サービスのうち、特別養護老人ホーム等に入所して受ける施設サービス以外のサービスのこと。例えば、在宅で利用する訪問介護サービス等が代表的なサービス。
- 居宅サービス利用率…介護保険サービス受給者数のうち、居宅サービス受給者数の占める割合。

居宅サービス利用率(各年度末現在)

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

● 奈良県 ○ 全国





介護サービスに関する満足度

介護サービスに関する満足度は3.08と前年度より上昇し、全項目の満足度の平均を上回る

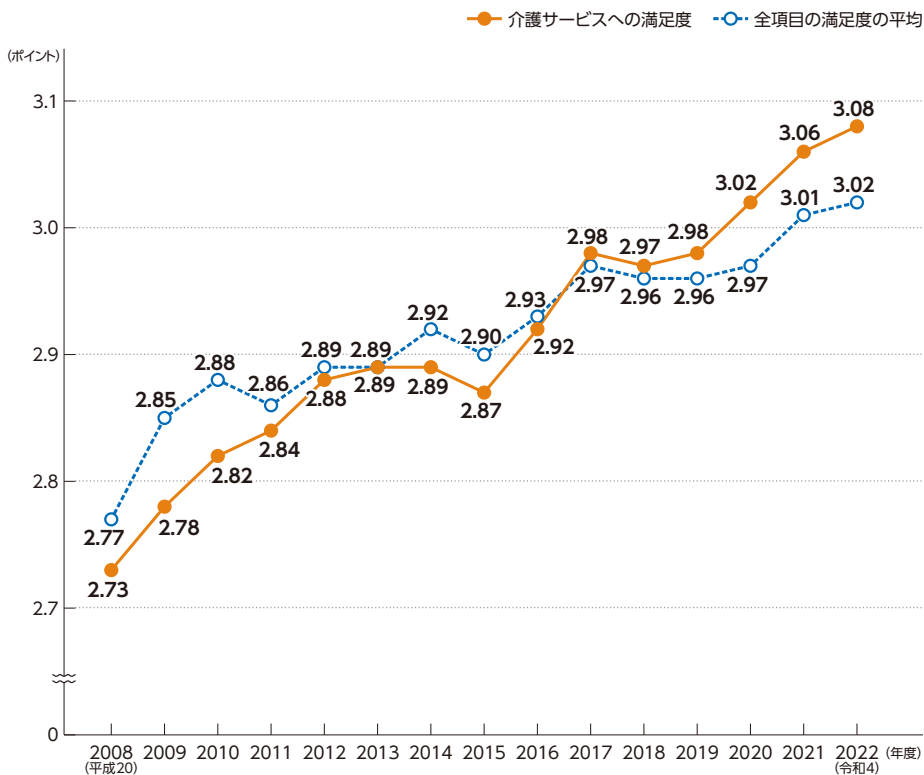


令和4年度県民アンケート調査によると、高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられることに関して、満足度が3.08で、全項目の満足度の平均の3.02を0.06上回っています。2008(H20)年度の2.73と比べると0.35の増加となっています。

- **満足度**…生活に関する各項目について、それぞれに次の点数を与え、平均をとった値。
 - ・十分満たされている(5点) ・かなり満たされている(4点) ・どちらともいえない(3点)
 - ・あまり満たされていない(2点) ・ほとんど満たされていない(1点)
- **全項目の満足度の平均**…介護サービスを含め、県民アンケートの全ての質問項目の満足度を平均した値。

介護サービスへの満足度

資料：県統計分析課「県民アンケート調査報告書」





児童虐待相談対応件数

児童虐待相談対応件数は、 1,639件で前年度より10.8%減少



2022(R4)年度の相談対応件数(県子ども家庭相談センター及び奈良市子どもセンター分)は、1,639件で前年度より10.8%減少となりました。

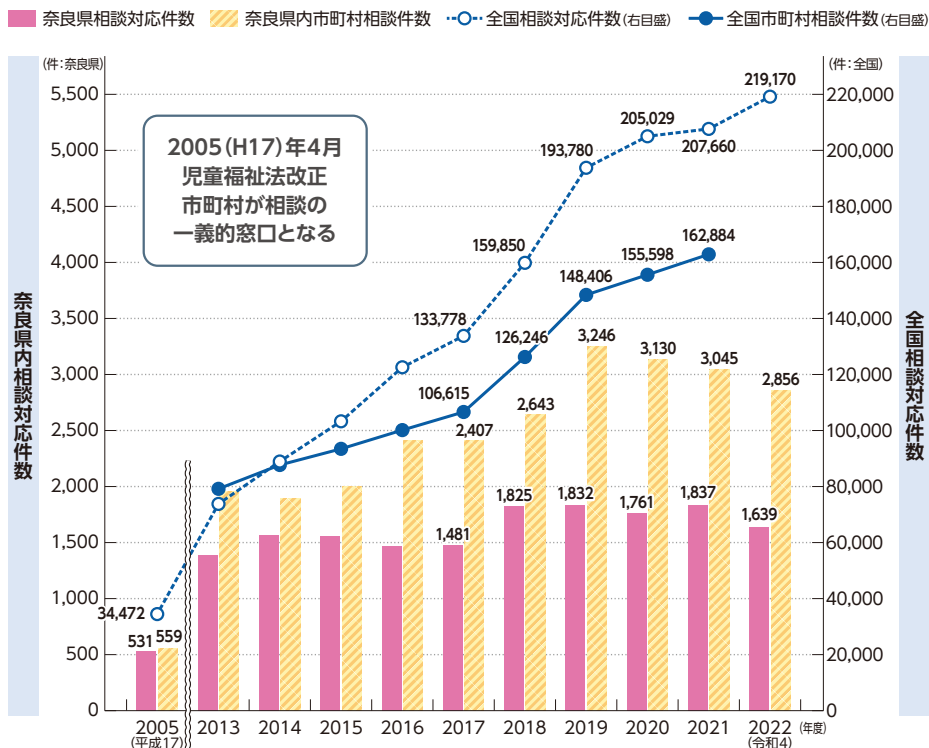
県子ども家庭課のとりまとめによると、2022(R4)年度の児童虐待相談対応件数(県子ども家庭相談センター及び奈良市子どもセンター分)は、1,639件で前年度の1,837件から198件(10.8%)減少しました。2009(H21)年と比べると、1,000件増加し約2.6倍となっています。

また、2022(R4)年度に市町村が対応した児童虐待相談件数は、2,856件で前年度より189件(6.2%)減少しています。

児童福祉法の改正により、市町村が児童虐待の身近な窓口と位置づけられた2005(H17)年度の559件と比べると約5.1倍となっています。

児童虐待相談対応件数の推移

資料：厚生労働省「福祉行政報告例」





児童虐待の種類別・年齢別割合

心理的虐待が49.2% 身体的虐待が25.8%



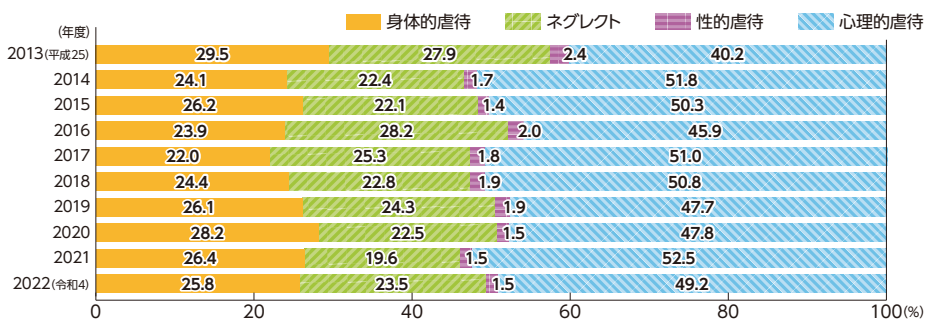
県子ども家庭相談センター及び奈良市子どもセンターで対応した児童虐待相談を種類別にみると、2022(R4)年度では、心理的虐待が49.2%と最も多く、前年度と同様に高い割合を占めています。年齢別では、小学生が最も多く、32.8%となっています。

県子ども家庭相談センター及び奈良市子どもセンターで対応した2022(R4)年度の児童虐待相談を種類別にみると、心理的虐待が49.2%で最も多く、次に身体的虐待が25.8%、ネグレクト(保護の怠慢・拒否)が23.5%となっています。近年において心理的虐待の割合が高い傾向を示している要因として、児童の面前で起きたDVの増加が背景にあると考えられます。

また、年齢別にみると2022(R4)年度は小学生が32.8%と最も多くなっていますが、全体の41.9%は0歳～学齢前児童が占めており、乳幼児における児童虐待の割合が依然として高い水準にあります。

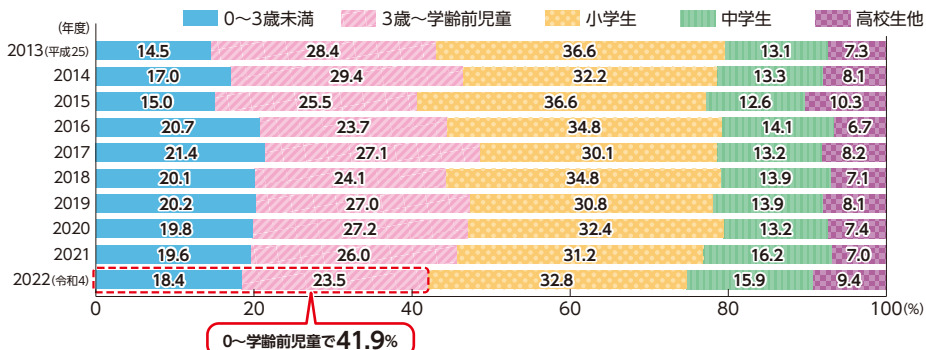
児童虐待の種類別割合の推移

資料：県子ども家庭課



児童虐待の年齢別割合の推移

資料：県子ども家庭課





保育所等定員数・利用児童数及び待機児童数

保育所等^(※)の定員は、2万9,351人で前年度より343人増加。保育所等利用児童数は、2万5,362人で前年度より89人減少。待機児童数は、84人で前年度より3人増加

2023(R5)年4月1日現在の保育所等の定員数は、2万9,351人で前年度の2万9,008人から343人増加しました。2018(H30)年度と比べると、1,649人(5.9%)の増加となっています。

また、保育所等利用児童数は、2万5,362人で前年度の2万5,451人から89人減少しました。2018(H30)年度と比べると、569人(2.3%)の増加となっています。

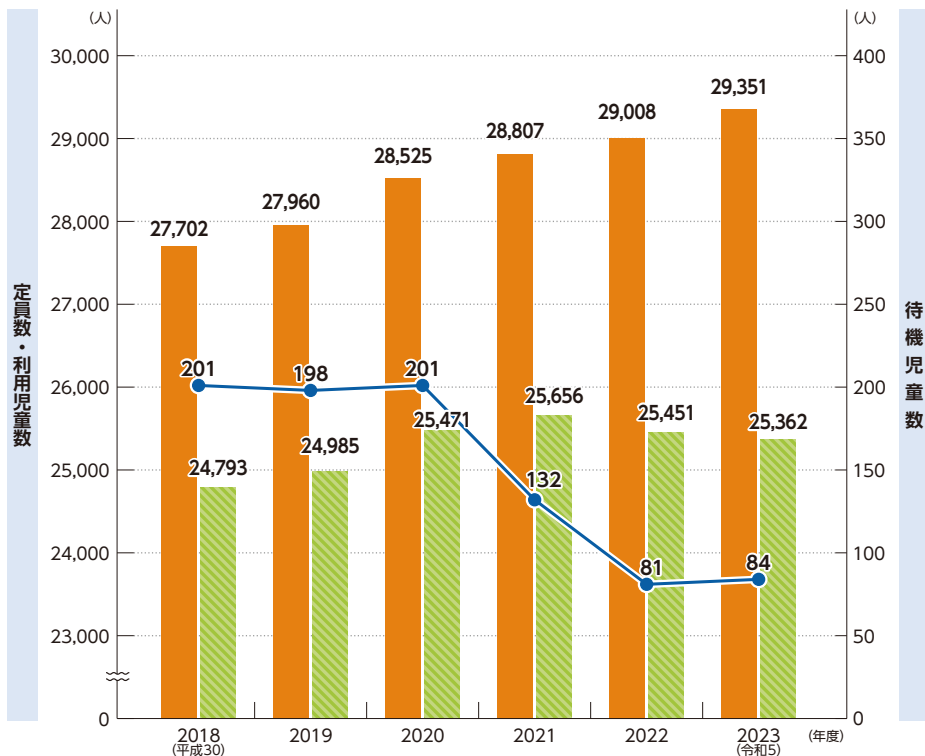
待機児童数は、84人で前年度より3人(3.7%)増加となっています。

※ 保育所(保育所型認定こども園の保育所機能部分含む)、幼保連携型認定こども園(保育所機能部分のみ)、幼稚園型認定こども園(保育所機能部分のみ)、地域型保育事業。

保育所等定員数・利用児童数及び待機児童数の推移

資料：県奈良っ子はぐくみ課

■ 定員数 ■ 利用児童数 ● 待機児童数(右目盛)





放課後児童クラブのクラブ数及び登録児童数

2022(R4)年5月1日現在の放課後児童クラブの登録児童数は16,470人



2022(R4)年5月1日現在の放課後児童クラブの登録児童数は16,470人で前年度の16,094人から376人増加しました。2017(H29)年度と比べると1,886人の増加となっており、増加傾向にあります。

また、放課後児童クラブ数は399か所で前年度の382か所から17か所増加しました。2017(H29)年度と比べると、79か所の増加となっており、年々増加しています。

放課後児童クラブのクラブ数及び登録児童数の推移

資料：県奈良っ子はぐくみ課

